

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立宮原小学校
(宮原中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	+15.2	+9.0	+10.9
令和6年度	+9.3	+8.6	-
令和5年度	-9.2	-5.5	-
令和4年度	-1.6	-1.2	-2.3

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方 読むこと 情報の扱い方 我が国の言語文化 話すこと・聞くこと 書くこと</p> <p>本校 82% 全国 66.8% 県 69%</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることに課題がある。(設問3三(2)【読むこと】) ◎事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。(設問3二(2)【読むこと】) ◇・目的や意図に応じて必要な情報を見つけることに課題がある。 ・自分の考えが伝わるよう表現することに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全学年のスキルタイムで「読むこと(説明的文章)」の問題に取り組み、解き方を解説する時間を設ける。 ◇・与えられた情報から目的や意図に沿って必要なものを選択し、相手が伝えたい事柄を正確に読み取る等、「読むこと」に活用する授業展開を仕組む。 ・主語・述語・助詞に注意しながら、場面に応じた書き方を判断する等、「書くこと」に活用する授業展開を仕組む。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎◇全国学力(設問3二(2)、設問3三(2))の類似問題(全学年、2月)目標70%→結果75.5%
<p>算数</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係 測定</p> <p>本校 67% 全国 58% 県 59%</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎図形では、補助線をひいた図形のイメージができていない。そのため、公式に必要な長さを自分で調べ、求めることに課題がある。(設問2(4)五角形の面積の求め方) ◎数直線上で1の目もりに着目し、分数を単位数のいくつ分として捉えることに課題がある。(設問3(3)数直線の目もりが表す数を分数で書く) ◇目的に応じて、表やグラフから項目間の関係やデータの傾向を適切に読み取ること <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎分数の意味・表し方や図形の求積の理解を促すため、図・言葉・式を関連づけて考えたり、説明したりする学習を充実させる。 ◎「1」を正しく捉え、もとなる「1」に対する分数や少数を理解できるように、数直線等を用いて定着を図る。 ◇生活と関連付けた場面における数量を分類・整理し、表やグラフを用いて表したり、図・言葉・式と関連づけて考えたりする算数的活動を行う。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎◇全国学力(設問2(4)、設問3(3))の類似問題(全学年、2月)目標70%→結果78.5%
<p>理科</p> <p>エネルギー 地球 粒子 生命</p> <p>本校 68% 全国 57.1% 県 59%</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があること ◎問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったか判断し、表現することができていない。(第4学年「金属、水、空気と温度」設問4(1)【思・判・表】) ◇条件を制御しながら実験を計画したり、解決するための観察、実験方法が適切であったか判断したり等、一連の問題解決の過程への認識に課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎体験活動を充実し、観察、実験の方法や結果を表等に整理させる。また、結果からわかることを考察し、表現する活動の充実を図る。 ◎学習の振り返りの時間を設定し、実験と結果を関連付けながら「解決方法」を考え、実際に書いたり、交流したりする場を設定する。(問題解決の過程の意識化を図る。) ◇見通しをもって実験計画をたてる等、一連の問題解決の過程を意識させながら体験活動を充実させていく。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎◇全国学力(設問2(1)、設問4(1))の類似問題(第3~6学年、2月)目標70%→結果75%

【来年度に向けて】国語では、重点課題を受け、スキルタイムで週1回「読む」「書く」プリントに取り組む時間を設定。習熟を図るためキュービナを効果的に活用するため、研修を深め内容の充実を図る。国語、算数ともに、全学年で共通して以下のような取組の継続、改善、徹底。
 国語…○条件に合わせて書く力を付けるためのプリントを行う。
 ○初読の問題プリントに週一回取り組み、読み取りのコツを指導する。
 算数…○適用問題に対応する力を付けるために、教科書の単元末にある「学びのまとめ」の問題や活用問題に取り組む。
 ○活用問題のプリントに取り組み、解き方や表現の仕方を指導する。(「思考力・表現力を評価する算数テスト集」の活用)
 ○基礎力を伸ばすためのプリント「計算マスター」「5分チャレンジ教科書プリント」や、キュービナによる基礎・基本の徹底を行う。